

マンスリー・ハイライト 拝啓社長殿

マネジメントのための経営財務情報

今回のテーマ： 経済財政運営と改革の基本方針 2022 について

岸田政権以降、「新しい資本主義」というフレーズを耳にします。「経済財政運営と改革の基本方針 2022」(令和4年6月7日 閣議決定 以下、「基本方針」という。)に新しい資本主義の考え方や重点分野が記載されており、今後の我が国の重点政策や技術トレンドが見えてきます。

「新しい資本主義」とは

基本方針において、新しい資本主義とは、資本主義のバージョンアップであるとの説明が付されており、具体的には、下記①～③を実現する思想とされています。

- ① 「市場も国家も」、「官も民も」によって課題を解決すること
- ② 課題解決を通じて新たな市場を創る、すなわち社会的課題解決と経済成長の二兎を実現すること
- ③ 国民の暮らしを改善し、課題解決を通じて一人ひとりの国民の持続的な幸福を実現すること

4つの重点投資分野について

基本方針では、創造性を発揮して付加価値を生み出していく原動力は「人」であり、自律的な経済成長の実現には、民間投資を喚起して生産性を向上することで収益・所得を大きく増やすだけでなく、「人への投資」を拡大することにより、次なる成長の機会を生み出すことが不可欠との認識のもとに、次の4つを重点投資分野と定めています。

- ① 人への投資
- ② 科学技術・イノベーションへの投資
- ③ スタートアップへの投資
- ④ GX(グリーン・トランスフォーメーション)及びDX(デジタル・トランスフォーメーション)への投資

基本方針と同時に「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日 閣議決定、以下、「実行計画」という。)が公表されています。実行計画では、重点分野別に詳細な計画を定めていますが、その中からいくつか興味深い記載を下記に紹介致します。

- ・ デジタル人材育成・専門能力蓄積、そのために大学等でのAI・データサイエンス・数理等の教育を強化する。
- ・ 量子技術の実証環境を整備し、量子コンピュータや量子暗号通信について、エネルギー、金融、創薬・医療、材料化学、航空、モビリティ等、幅広い分野で、実証を進め、産業化に向けた拠点整備を進める。
- ・ ディープラーニングを重要分野として位置付け、企業による具体的なニーズを念頭に置き、その実装・開発を推進する。
- ・ 遺伝子技術によるバイオもの作り分野に重点投資する。
- ・ 次世代通信インフラ6Gについては、2030年頃の導入を見据えて、ネットワークから端末まで全てに光通信技術を活用することで、現在の100倍の通信速度と100分の1の超低消費電力を実現する技術を5年程度で確立する。

お見逃しなく！

実行計画は内閣官房(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.html)のホームページで全文を確認することができます。実行計画には、今後の政府の重点投資分野や法規制等の各種制度見直しの方向性だけでなく、最近の技術トレンドが示されています。是非一読下さい。